

2021年4月、中学校の教科書が

ががらり

と変わります！

Up-STATION
アップステーション

中学校教科書改訂2021

国語編

【国語編】 国語の教科書はこう変わる！

- ①語彙(ごい)の量が増える
- ②「対話×資料」のコンビが定番に
- ③読んだ内容をどうまとめるか

☆番外編☆ 作文・小論文のコツ

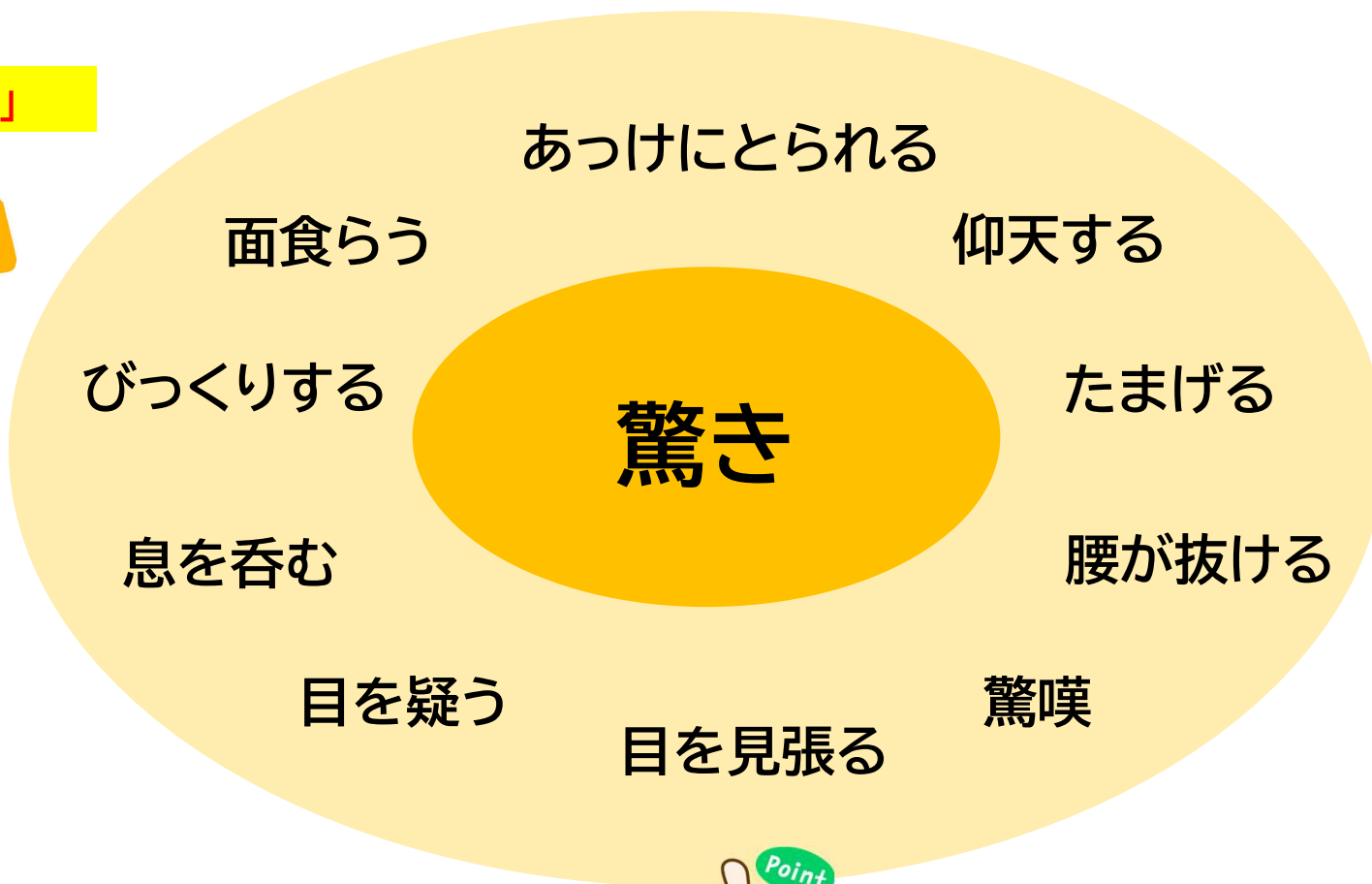


国語の教科書はこう変わる① 語彙(ごい)の量が増える

「このパンケーキやばっ！」



「今のゴールやばっ！」



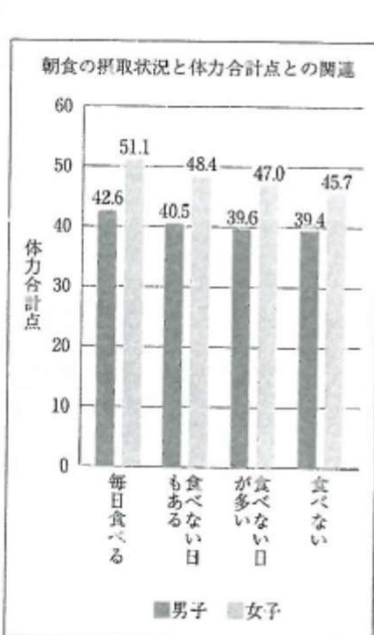
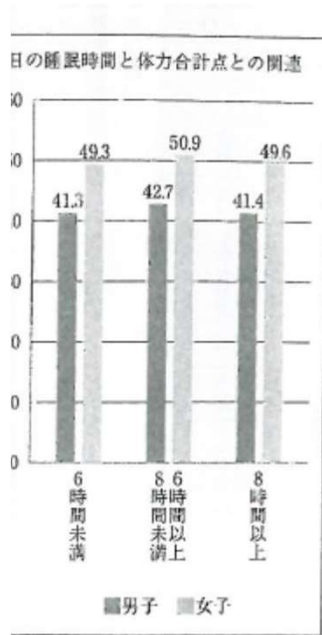
★日本語にはこれだけたくさんの類語がある！



語彙を増やし、**自分の気持ちを的確に表現できる**ようになることがねらい！

国語の教科書はこう変わる② 「対話×資料」のコンビが定番に

国語×数学×社会



山本さん

私もそう思っていたけど、資料Ⅱを見ると、睡眠時間が長いほど体力が向上するわけではないみたいだよ。本当ですね。それでは、

鈴木さん

私もそう思っていたけど、資料Ⅱを見ると、睡眠時間が長いほど体力が向上するわけではないよ。本当ですね。それでは、

高橋さん

睡眠時間が長いほど体力が向上するのではないだろうか。

山本さん

では、食事以外に、体力向上のための取り組みにはどんなものが考えられますか。

鈴木さん

この資料Ⅰを見てください。それによると、朝食を毎日食べる群の体力合計点が高いことから、朝食を食べることが大事なようですよ。

山本さん

なるほど、良いアイデアですね。ところで体力向上には、食事の何が大事なのでしょう。食事の量も大事だと思いますし、食事の質も重要ですよ。

高橋さん

体育の先生からは、しっかりと食事をとりなさいと指導されています。だから私は、食事の大切さを健康標語に取り入れるべきだと思います。

山本さん

健康標語を作るにあたって、中学生の体力向上をテーマにしようと思いましたね。体力向上のためには、どういうことに取り組んだら良いと思いますか。

（話し合いの様子）

4 山本さんの中学校の保健委員会では、健康標語を作るために話し合いをしています。（話し合いの様子）と資料Ⅰ、資料Ⅱを見て、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。



国語の読解力だけでなく**数学や社会の力**も求められる問題が増加傾向に！

「健康に関するスローガンを作る」という話し合いの場面と、それに関連する資料を読み取り、登場人物の立場にたってセリフを考える問題(2020年度岩手県・国語の入試問題より)

国語の教科書はこう変わる③ 読んだ内容をどうまとめるか

ビジネスの場面でも役立つ「マインドマップ」が中1の国語に登場

思考を整理する

どんな方法で情報を整理しよう。
図式化すると、自分の考えが整理される。
みんなでいっしょに考えることもできる。

① 整理する・分類する

- 軸：基準となる軸を設けて、物事の構造などを示す。例 31~32
- 構成：目的に沿った「観点」を決め、表に整理する。例 32~33
- 分類：共通点や類似点に着目してグループに分ける。例 33~34

② 共通点・相違点：複数の物事の特徴を、共通点と相違点に分ける。例 33~34

③ 順序・流れ・関係：物事の順序や流れ、変化などを矢印や円などを置いて表す。例 28~33

思考を広げる

どのように情報を集めようか。
テーマは決めてよいだろうか。
他の見方はないかな。

④ マッピング：思い付いた考えや物事をつないで広げていく。例 35~36

⑤ ブレインストーミング：アイデアを広げるための話し合い。例 146~147 (グループ・ディスカッション)

思考の地図

思考の線に出かけよう

場面や目的に応じてさまざまな思考法(考え)を使い、詳細を掘り下したり自分の考えを深めたりしている。

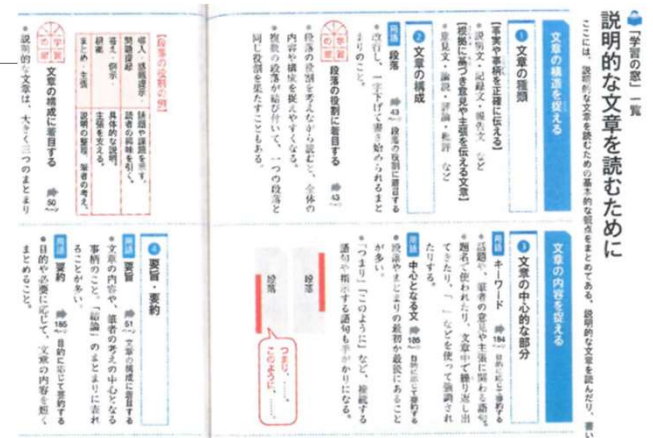
文章を読むだけでなく、
読んだ内容を

- ・どうまとめるか
- ・相手にどう伝えるか

までが求められます！



マインドマップは
関連書籍も多数出
版されています



「そもそもどうやって文章を読んだらいいか」
のページも中1の教科書に登場



**そのままビジネスにも応用
できそうな思考整理術が入
学直後に登場！**

国語の教科書はこう変わる☆番外編☆

作文・小論文のコツ

【問】あなたがこれまで力を入れてきた活動について述べなさい

もやもや答案例①

私が力を入れてきたのは部活動です。部活では部長を務めました。部長として部員をまとめ、イベントを開き、大会にも出場していい成績を取りました。

もやもやポイント

●何部に所属していたの？

●いい成績ってどれくらい？

もやもや答案例②

私は陸上部に所属している。最初は全然走れなかったが、監督の指示に従い毎日練習しているうちにタイムが上がってきた。つらくてやめたいと思うこともあったが、先輩たちの励ましのおかげでつづけることができた。

もやもやポイント

●自己PRではなく「監督や先輩のPR」になっている

●周りから励まされないとつづげられないのか？という印象を持たれてしまうかも

国語の教科書はこう変わる☆番外編☆ 作文・小論文の書くコツ

【問】あなたがこれまで力を入れてきた活動について述べなさい

すつきり答案例①

私は吹奏楽部に所属し、部長も務めました。二十四人の部員たちをまとめ、春は行内でミニコンサートを開催し、秋には市のコンクールに出場して銀賞を受賞しました。

すつきり答案例②

陸上部に入部したばかりのころ、私は部員のなかでいちばん走るのが遅かった。そこで毎朝、公園で自主的に練習しその様子をビデオで撮影してみることにした。すると、自分のくせやフォームが崩れるタイミングが理解できた。それらを意識して練習を重ねたところ、百メートル走のタイムを二秒縮めることができた。

すつきりポイント

●「いつ・どこで・何を・だれに・どれくらい」が具体的に書かれている

●他者ではなく「自分自身は何をしたか」に焦点を当てている